



JTUC

日本労働組合総連合会  
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.377 2022.11.10

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

10  
25  
TUE

## 連合山梨 第34回年次大会を開催

連合山梨は、10月25日(火)YCC県民文化ホール 小ホールにおいて、中間大会となる第34回年次大会を開催しました。2022～2023年度におけるこれまでの活動の総括を行うとともに、総仕上げとなる残り1年間の運動方針を承認・決定し、新年度のスタートを切りました。

窪田会長による挨拶の後、長崎山梨県知事、生方山梨労働局長をはじめとするご来賓の皆さまから挨拶を頂戴しました。

議事では、2022年度活動報告・決算報告・監査報告及び剰余金処分(案)について報告と提案がされました。そして、代議員から出された意見要望に対する答弁が行われた後、全体の拍手で承認されました。

次に、第1号議案「2022～2023年度運動方針補強(案)」、第2号議案「2023年度予算(案)」が一括して提案され、代議員からの意見要望に対する答弁が行われた後、満場一致で承認されました。そして、第3号議案「大会特別決議(案)」が承認された後、大会スローガンである『安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働くなかまとともに「必ずそばにいる存在」へ～』および、大会宣言を採択し、窪田会長の音頭による団結ガンパロー三唱にて、大会を締めくくりました。



## 窪田会長挨拶 (要旨)

## 【2023春闘】

今年度の地方最低賃金の引き上げ額が、過去最高の全国加重平均31円「山梨で32円の引き上げ」となったことは、「格差是正」と「底上げ」に向けた大きな成果であり、「賃上げの流れ」を2023春季生活闘争にも繋げていかなければならない。

日本の賃金水準は長期間停滞しており、経済の長期停滞と様々な格差につながる構造的課題であり、経済・社会の原動力となる「人への投資」をより一層積極的に行う必要がある。

2023春闘に向けては、日本の経済と社会を新たなステージへと変えていく転換点とすべく、引き続き「未来づくり春闘」を掲げ、私たち組織労働者の取り組みが日本の未来をつくるということ意識して進めていきたい。

## 【組織拡大・組織強化等の構築】

労働組合の全国組織率は16.9%であり、「山梨は11.1%」と大多数の労働者が集団的労使関係に守られていないのが現状である。特に、県内企業は未組織が圧倒的に多く、厳しい経済環境と雇用の形態から様々な問題も出ている。

全ての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」となるべく、集団的労使関係の輪を広げるとともに、「何のための、誰のための、労働運動であるべきか」を常に自らに問い続けながら、社会の共感を得られる運動を進めていく。

組織拡大の取り組みを通じて、働く者の雇用と生活を守る基盤として、組織化されていない働く仲間、労使関係の重要性を拡げていき、その重要性を社会に浸透させていくアピールを強めていく。



## 【ジェンダー平等・多様性】

日本のジェンダーギャップ指数は、146か国中116位と低位にあり、あらゆる差別の解消に向けた取り組みの加速化が必要である。

性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざし、法整備や職場環境の改善などの取り組みを推進していく。

連合山梨ジェンダー平等委員会で、男女平等をはじめ、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現を目指していく。

## 【政治への取り組み(知事選、統一地方選)】

働く者・生活者のための政策実現に向けた歩みを着実に進め、関係する支援政党(立憲民主党・国民民主党)・議員懇話会・退職連合との連携を更に強化しつつ、連合山梨としての役割と責任を果たしていく。

来年1月には知事選が予定されており、支援政党と連携しながら総合的に判断し、連合山梨の機関会議を経て早急に方針を決定していく。

統一地方選挙は、連合本部の方針に沿って取り組みを進めていく。知事選も統一地方選も、連合運動の理解者を政治の場に送るため、また支援政党の地盤強化につながるよう、推薦候補者の勝利に向けて取り組んでいく。

## 【結び】

少子高齢化と人口減少の中で、危機的状況にある日本の経済や国民生活を立て直すことは容易なことではなく、資源が乏しい我が国が繁栄を続けるには、子育てから教育、安定した雇用システムや安心の社会保障を背景に、更なる「人への投資」が必要である。

時代や環境の変化を見据え、目指すべき社会の姿である「労働を中心とする福祉型社会」を深化させ、「労働組合は社会になくはならないインフラ」として運動を展開していく所存である。

連合運動の前進のため、代議員の皆様のご真摯な議論をお願いする。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目3-16 センティアホテル内藤敷地内 2F  
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189 (仮事務所)

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>  
E-mail: [info@yamanashi.jtuc-rengo.jp](mailto:info@yamanashi.jtuc-rengo.jp)

発行人 田中 好 久

Facebook  
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



# 第34回年次大会 代議員発言及び答弁(要旨)

## 第1号議案 2022～2023年度運動方針(案)

日教組 日野原 代議員

### 運動方針その3【統一地方選挙】への補強意見

私たちの雇用や生活に直結する課題には、法や条例の整備・予算付けが必要であり、全ては政治の場で決まる。私たちは、政治に無関心でいることはできて、無関係でいることはできない。



一方で、若年層を中心に組合員の「政治離れ」が進んでいることも事実であり、政治闘争の意義を確認し、政治活動に自ら参加する意識を高めていかななくてはならない。

2023年4月の統一地方選挙では、この選挙の重要性を全ての構成組織で共有し、強固な選挙体制を築く必要がある。

また、自組織から候補者を擁立していくことも議論すべきであり、自分たちの生の声を、自分たちの組織から直接届けることを、各産別、単組で真剣に考えていく必要がある。

答弁 田中 事務局長

組織内候補の減少傾向に歯止めをかけるべく、私たち連合山梨としても地方議員の兼職・兼業も前提とした議会運営を見直すよう要請行動を行っていく。



また、政治への関心や信頼の低下は極めて問題であり、職場を原点とした日常的な活動を改めて徹底し、政治研修会の開催を通じて、組合員の政治意識高揚、投票率の向上につなげ、更には地方議員のなり手を発掘していく。

この他にも、各地域の課題等を踏まえて、関係する支援政党(立憲民主党・国民民主党)と意見交換を行い、候補者との対話を設け、十分かつ慎重な見極めと、議席を増やすべく、推薦候補者の擁立に取り組んでいく。

運輸労連 三井 代議員

### ①送料無料の表記について

国土交通省では令和2年4月に「標準的な運賃」を定めたが、荷主企業等から理解を得られていない。加えて、コロナ禍や原材料費等の高騰などの影響により、運賃の交渉は厳しい状況にある。



その様な中で、通販等の「送料無料」表記は、消費者に運

送行為が無料(無償)で行われているとの誤解を与えている。社会全体の意識として、物流の価値と運賃の重要性を軽薄化させかねない「送料無料」の表記の廃止の取り組みについて理解・協力をお願いする。

### ②労働時間短縮と荷主への対応について

運送現場において、契約にない待機時間や付帯作業が多々発生している。法の遵守と働き方改革促進、ドライバーの一般則適応のためにも荷主の配慮義務の重要性をご理解いただくとともに、県内における物流の効率化と労働条件改善のために「ホワイト物流」推進運動の更なる展開を促していただけるよう連合山梨においても行政ならびに関係団体への発信をお願いする。

また、過労死ラインを超える基準の改善に向けて、荷主企業に理解・浸透させていくべく、連合山梨に集うみなさんと所属する企業のみなさんに理解・協力をお願いする。

### ③トラックの休憩場所の確保について

トラック輸送では、改善基準告示により連続運転4時間につき30分の休憩が義務付けられているが、その為の駐車スペースが不足している。

連合山梨としても、物流インフラを担うトラックドライバーが安全に運行できるよう、法令で定める休憩確保のためのSA/P/Aや道の駅などの駐車スペース確保に向けた要請をお願いする。

答弁 田中 事務局長

多くの人々が通販を利用している中で、「送料無料」の表記が氾濫し、物流の価値と運賃の重要性を希薄にしかねない。連合山梨交通・運輸部門連絡会とも連携を取って関係各所への是正を求めていく。

運輸業界の労働時間は、全産業と比較して2割も長く、過労死認定が最も多い。年収においても4分の3に留まるといった環境下となっている。「ホワイト物流」推進運動や荷主と運送事業者による取引環境と、長時間労働の改善に向けたガイドラインの作成などの取り組みは始まったばかりであり、地域、企業によって差がある。労働条件や労働環境の改善に努めていく。

長時間運転をする中で、休憩場所がないために運転を続けなければならないことは、肉体疲労のみでなく危険運転につながる重大な問題と認識しており、連合として国交省等への要請行動につなげていく。

役員交代 【前任】連合山梨 副会長 佐々木 琢郎(UAゼンセン) ▶ 【後任】連合山梨 副会長 岡本 昌也(UAゼンセン)  
これまでのご尽力に心より感謝申し上げます

10

1

SAT

## 青年委員会 クリーンキャンペーン

連合山梨青年委員会は、日頃から慣れ親しみ愛着のある街を快適で美しく保つため、クリーンキャンペーンと題した清掃活動を行っています。

今年度は、10月1日(土)に青年委員会メンバーをはじめ、各構成組織から17名の参加をいただき、センティアホテル内藤から甲府駅までの歩道の清掃活動を実施しました。平和通りの東側と西側の歩道



道を甲府駅に向かって北上し、甲府駅から県庁と甲府市役所東側を通って中央公園内をひと周りするルートで清掃を行いました。

たばこの吸い殻などの細かいゴミや、空き缶、空き瓶、ペットボトルなどのゴミを回収し、拾い集めたゴミは適切に処分を行いました。

この清掃活動を見られた方々が環境美化への意識が高まる事を願って、今後も、クリーンキャンペーン活動を継続していきたいと思えます。

青年委員会 委員長 竹川 智也



10

13

THU

## 官公部門連絡会

## 人事院勧告についての学習会を開催



10月13日(木)、36名参加のもとYCC県民文化ホール会議室にて、「2022人事院勧告について」と題した学習会を開催しました。

冒頭、連合山梨窪田会長、官公部門連絡会 福井議長より挨拶がありました。

講師には、公務公共サービス労働組合協議会の副事務局長である加藤達夫氏をお招きし、本年8月8日に国家公務員に対する人事院勧告が出された内容について、丁寧な説明を頂きました。本年はプラスの勧告となっていますが、エネルギー価格の上昇や物価高騰などにより厳しい状況下にある中で、全世代への配分はされておらず、課題が残る勧告となりました。講演では、民間の賃上げ動向と全国の給与改定報告や、定年引上げなどに触れながら、勧告についての要点が示されました。

参加者からは、定年引上げについて現場と総務省の考えに隔たりがあり、制度とし

て受け入れるには難しく、組合員に理解が得難いなどの意見が出されました。

最後に、会場全体で団結ガンバローを行い、学習会を締めくくりました。

官公部門連絡会 事務局長 白倉 和也

10

19~21

WED

FRI

## 第81回全国産業安全衛生大会

10月19日から21日までマリンメッセ福岡・福岡国際会議場で行われた、全国産業安全衛生大会へ出席してきました。

初日は開会式に出席し、各種表彰・大会宣言等の後、生物学者で青山学院大学教授、福岡伸一氏より、「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」をテーマとした特別講演が行われました。講演では友人と再会するとき「お変わりはありません



ね」など挨拶を交わすが、半年、一年ほど会わずにいれば、分子のレベルでは新しく入れ替わった人物である。そんな生命の不思議をわかりやすく、面白いエピソードを交えて講話をしていただきました。

2日目の分科会では、ゼロ災運動の取り組みとして「経験から学んだKY活動」(日本架線工業)、「全員がルールを守り守らせ風化させない、安全最優先な職場づくり」(トヨタ自動車九州)、マネジメントシステム・リスクアセスメントでは「ISO45100で運用する健康づくりとして」(日本製鉄・SUMCO・キャノン)の講話を受講しました。その他にもメーカーの安全器具の展示会を見学しました。

3日目は交通安全の分科会に参加し「ドラレコを活用した安全支援」(日鉄)、「AIによるリスク運転自動検出機能を持ったドラレコ活用事例紹介」(ジョンソンコントロールズ)の講話を受講しました。

3日間の参加でしたが、各業種の安全作業対策・安全運転対策を学ぶことができ有意義な大会でした。機会があれば皆さんもぜひ参加してください。

副事務局長 白倉 範人





## 連合山梨会館(仮称)経過報告 No.11 建設工事の無事を祈願!

新しい会館の建築工事を始める前に、土地の守護神をお祀りし、工事の無事と連合山梨活動の繁栄を祈願しました。

## やまなし労福協 10月19日 第36回チャリティゴルフ大会を開催

やまなし労福協第36回チャリティーゴルフ大会を10月19日(水)にC・Cグリーンパレイに於いて行いました。当日は清々しい秋晴れのもと、81名のご参加を頂いての開催となりました。集まったチャリティー金は、山梨県社会福祉協会を通じて「山梨ともしび基金」に寄付をさせていただきます。

山梨県労働者福祉協会 事務局長 清水 澄男



優勝した渡辺さん

大会結果	優勝	渡辺 和廣様 (労金友の会)	〔ベスグロ〕
	準優勝	保延 秀治様 (TDK労組)	米山 康明様 (全日通労組)
	3位	渡邊 裕文様 (労金友の会)	グロス37 (ハーフ)

### 実現しよう、過労死等

11月は過労死等防止啓発月間

ゼロ

こんなことに心当たりはありませんか?

- ✓ 長時間労働が続いている
- ✓ 周囲に相談相手がいない
- ✓ 遅刻や早退をしてしまうことが増えた
- ✓ 急に気分が沈んだりする

これらは、ストレスの原因やメンタル不調時に現れやすいサインの例です。

厚生労働省 こころの耳 相談窓口 <https://kokoro.mhlw.go.jp/agency/>

相談無料 秘密厳守

フリーダイヤル いこうよ れんごうに **0120-154-052**

連合 なんでも労働相談ホットライン

## 連合山梨 ふれあい基金カンパ

### 愛のカンパ金 募集

連合「愛のカンパ」活動の取り組みと連動して、今年も「連合山梨ふれあい基金カンパ」に取り組みます。各構成組織、地域協議会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**2022年10月中旬～2023年01月27(金)まで**

1次集約 **2022年 12月 23日 (金)**

2次集約 **2023年 1月 27日 (金)**

※連合本部報告が「2023.1.31」であり、この時点の集約結果を2/3の連合山梨第17回執行委員会で報告し公開させていただきます。

※詳しくは、組合窓口へお問い合わせ願います。

**目的** ふれあい基金カンパは、連合運動の社会的貢献をめざし、福祉団体(施設)への寄付および支援と連合山梨に加盟する組合員の相互扶助を目的に実施いたします。

**目標金額** 組合員1人 100円程度

**募集方法** 具体的取り組み方法については各構成組織に一任いたします。

**集約** 各構成組織での取り組みが終了次第、以下へお振込みをお願いいたします。

**振込先** ・金融機関 中央労働金庫 甲府支店  
・口座番号 普通 1373476  
・口座名義 連合山梨  
注：備考欄に必ず「ふれあい基金」と記入願います。

**事業内容**

- ① 福祉施設および福祉団体等への援助活動を行う。
- ② 連合本部等の実施する人権・人道主義に基づく活動に協力する。
- ③ 災害等の被災者(被災地)に対する助け合い運動を行う。
- ④ 連合山梨加盟組合の組合員および職員が「死亡した場合の甲慰見舞金」と「長期休務または、障がい者三級以上に認定された場合の見舞金」を行う。
- ⑤ その他、連合山梨執行委員会が必要と認めた活動に対し行う。